

## 愛・地球博成果継承ロンドンシンポジウムの開催について

平成 18 年 11 月 27 日

(財)2005 年日本国際博覧会協会

「自然の叡智」をテーマに開催された 2005 年日本国際博覧会「愛・地球博」は国際的にも高い評価を得ることができ、好評の内に幕を閉じました。

このたび、博覧会協会は、その「愛・地球博」の成果・理念を将来に続く国際博覧会へ継承することを目的に、来たる 12 月 5 日(火)、1851 年世界初の万国博覧会が行われたロンドンにおいて、BIE(博覧会国際事務局)とサイエンスミュージアムの協力、在英日本大使館の後援の元に、下記のとおり、シンポジウム「World Symposium The Continuity of the Legacy of World Expos」を開催いたします。

### 記

日時：2006 年 12 月 5 日 (火)

シンポジウム 15:30～18:00

レセプション 18:45～20:00

場所：英国立サイエンスミュージアム

(Exhibition Road,LONDON SW7 2DD,UK)

シンポジウム：レクチャーホール

レセプション：展示ホール

### シンポジウムプログラム

① あいさつ：ビンセント・ロセルタレス氏 (BIE 事務局長)

中村利雄 (財団法人 2005 年日本国際博覧会協会事務総長)

② パネルディスカッション (発表順)

ア) ロバート・ライデル教授 (米国モンタナ州立大学、自然の叡知賞審査員)

～国際博覧会が社会に貢献してきた歴史の総括～

イ) ポール・グリーンホフ氏 (米国コーコラン美術館館長)

～国際博覧会と文化、芸術、建築などの関わりについて

ウ) ロバート・バド氏 (英国サイエンスミュージアム)

～国際博覧会と科学技術の成果継承について

エ) 本庄孝志 (財団法人 2005 年日本国際博覧会協会審議役)

～愛・地球博の具体的な成果継承について

オ) 彦坂 裕氏 (愛・地球博日本館クリエイティブ統括ディレクター、建築家)

～愛・地球博をケースとした国際博覧会と都市、建築について

カ) ハビエル・モンクロス氏 (サラゴサ公社会場計画チーフ)

～サラゴサ博覧会の期待する成果

キ) 周漢民氏 (上海世界博覧会協会副局長)

～上海博覧会の期待する成果

③総括: オーレ・フィリップソン氏

(元 BIE 名誉議長、愛・地球博国際諮問委員会委員長)

本件に関するお問い合わせ先

財団法人 2005 年日本国際博覧会協会

企画調整室 柴田 成志

電話 (052) 569-2562

参加に関するお問い合わせ先

シンポジウムロンドン事務局宛 (日英可)

[expo@claritas-marketing.com](mailto:expo@claritas-marketing.com)